

2/9 「市長と語るつどい」を開催

市内14団体で構成されるうるま市女性団体連絡協議会は、市政に対して抱えている問題等について、市長と直に語り合うことにより、行政への理解を深めていくことを目的に、市役所本庁で「市長と語るつどい」を開催しました。



2/12 第42回県母子保健大会表彰受賞報告

1月15日に開催された第42回沖縄県母子保健大会において、多年に渡り沖縄県の母子保健事業の向上発展に尽力し、母子の健康の保持増進に寄与したとして、仲嶺房子さん(写真左)が大会会長表彰、川端トヨ子さんが県知事表彰をそれぞれ受賞しました。



2/15 「地域に緑と花を」イッペー会

石川東山の地域ふれあい広場・通称「イッペー森」で、区民らによる定例除草作業が行われました。今回の作業はイッペー会と旭区自治会のほかに、金武キャンプハンセン所属の軍人15人がボランティアで参加し緑地帯の雑木除去などで汗を流しました。



2/19 九州地区体育指導委員協議会功労賞受賞報告

長年にわたり市体育指導委員として活動している座覇立国さん(写真右)と瑞慶覧昭さんが、地域住民のスポーツ振興や各種スポーツの普及・発展に大きく寄与した功績が認められ、九州地区体育指導委員協議会功労者表彰を受賞しました。



区民が集い、心から感謝

宮里善昌先生に感謝する区民の集い

平敷屋診療所を開設し56年間、地域住民の健康を願い続け昨年10月に退任した宮里善昌先生に感謝する区民の集いが、2月21日、平敷屋公民館で行われました。感謝の集いには、宮里さんに謝意を示そうと、400人余の区民が参加。舞台では、エイサーや棒術などの伝統芸能を披露しました。

沖縄最後の医介輔として診療にあたってきた宮里さんは「区民の皆さんに支えられてここまで続けられた。最後の医介輔として働けたことを誇りに思う」と区民へ感謝の気持ちを述べました。



花束を受け取る宮里さん

地域の声を反映させるために

4地区地域審議会から答申

3月4日、地域の声を行政に反映するために4地区ごとに設置された地域審議会から、平成19年度の新市建設計画の執行状況について、4地区の会長からそれぞれ答申がありました。

答申書の中には、それぞれの地区の意見や要望を付してあり、答申を受けた知念市長は、これまでの協力に対する感謝の後、「答申された内容を行政運営に反映していきたい」と述べました。

答申書は、うるま市ホームページで確認できます。



知念市長へ答申書を手渡す各地区の地域審議会会長